



# 地域新聞

佐倉東版

2010年 8月27日号  
Vol.645

【発行】株式会社地域新聞社 成田支社  
〒286-0048 千葉県成田市公津の社3-15-2  
TEL.0476-20-5775 / FAX.0476-20-5773

毎週木・金曜日配布 購読料無料  
手配り

ご意見・ご感想は [sakura-higashi@chiikinews.co.jp](mailto:sakura-higashi@chiikinews.co.jp)

## 千葉菌類談話会 第58回観察会

温暖な気候に恵まれた千葉県は、キノコの種類が豊富で愛好家も多い。七月二十四日、そんな千葉県菌類談話会の観察会に参加した。



吹春先生

午前中は佐倉城址公園内を散策し、キノコ採集。昼食をはさんで、午後は勉強会を兼ねた同定会（種類ごとに、キノコを並べて名前を判別する）。世話人の吹春俊光先生によると、県内で見つけられるのは約七百余種類、その中でよく見かけるのは百種類、毒キノコは約一割（千葉県で五十種類程度）、猛毒は一パーセント程度（千葉県で十種類くらい）。しかし一割くらいはおいしく食べられるぞう。

午前は、年数回の観察会やスライド会、講演会などをやっているぞうだ。

この日は猛暑、会の腕章をつけて、カメラを持った。思い思いのキノコ探し。いざ探してみると、これらがなかなか見つからない。副会長の吉田さんによると、温度、湿度などすべての条件がそろうまで、じっと中で発生のチャンスをおかしているぞうだ。腕章をつけた人に「見つかりましたか？」など声をかけあいながら探し進めると、吉田さんが斜面で「シロオニタケ」を発見。ちらちらと陽光さす草陰。少し光って見えるのは、まわりを胞子が静かに飛んでいるからか。キノコと目が合う感覚

だ。持ち帰り方は、「蒸らさない！」が絶対条件。紙袋に入れるか新聞紙に包むなどの工夫を。

※問い合わせ

☎043(296)36921

千葉県立中央博物館

植物学研究科 吹春

<http://homepage2.nifty.com/chibakin/>

千葉県菌類談話会



採集したものは紙袋に入れて



シロオニタケと吉田さん



同定会で詳しい説明を聞く